

2023年度

大学院科目等履修生募集要項

(先取り履修用)

東京外国語大学

【概要】

大学院博士前期課程は、授業科目について 30 単位を修得し、修士論文または修士研究を完成させることで修士号の学位が与えられます。本学では、大学院への進学を予定する、特別に認められた学生については、所定の手続きを経て、本学大学院博士前期課程の授業科目について、先取り履修を認めている科目から 10 単位を上限に第 4 年次に履修することを認めます。(最大申請科目数は 7 科目まで。)

履修科目によっては、受け入れ可能人数や条件が明示されているものがあり、それらも含めて選考が行われます。大学院の科目履修には高いレベルが要求されますから、すべての申請が許可されるとは限りません。先取り履修科目は学部の卒業単位に含めることは出来ませんが、所定の入試に合格し本学大学院への入学後、履修科目としての単位認定が可能です。ただし、進学後の専攻によっては履修した科目が認定されないこともあります。

この制度により、学部卒業前に大学院科目を履修することで、問題意識を高め、研究テーマを絞り込み、大学院で修士論文に向けた研究により多くの時間をあてることが出来ます。

また、大学院には早期修了制度があり、申請し許可されれば、1 年間で残りの単位を修得し、修士論文または修了研究を提出し修士号を取得することが可能です。入学後の 1 年間で必要単位の残りを修得し、同時に修士論文または修士研究を作成には事前の十分な計画が必要です。指導教員とよく相談してください。

1. 出願資格

本学の学部の学生で、第 4 年次に進級したときに、次の各号の全ての要件を満たす者。

なお、出願は 1 回※のみとする。

※ 4 月入学で出願した場合、1 0 月入学で出願することはできません。また、年度をまたいで再度出願することもできません。

- ① 言語文化学部、国際社会学部または国際日本学部第 4 年次に在学する者（2023 年 4 月 1 日現在）
- ② 本学大学院総合国際学研究科に進学を志望する者
- ③ 各コースの専攻分野について、大学院授業科目を履修するにふさわしい能力を有する者
- ④ 2022 年度夏学期までに修得した科目の GPA が 2.5 以上の者
- ⑤ 大学院科目担当教員の承認を得たうえで、指導教員が推薦する者
- ⑥ 履修科目毎に指定されている条件がある場合、その条件を満たしている者

2. 履修期間

大学院科目等履修生の履修期間は 1 年以内とし、延長は認めない。

3. 出願手続き

出願期間：2023 年 2 月 13 日（月）00：00～2 月 17 日（金）23：59

出願書類：① 2023 年度大学院科目等履修生（大学院科目先取り履修）願書

（所定様式を下記アドレスからダウンロードすること）

<http://www.tufs.ac.jp/common/is/kyoumu/pg/pdf/先取り履修願書2023.xlsx>

成績証明書は、大学院係にて準備するため、提出不要。

※ただし、出願資格にかかる GPA は各自確認すること

② 大学院科目の担当教員の承認メール

③ 指導教員の承認メール

出願方法：志願者は、出願書類を一括して教務課大学院係（kyoumu-daigakuin@tufs.ac.jp）

にメールにて提出すること。出願書類に不備がある場合は、願書を受理しない。

4. 履修できる授業科目（別表「先取り履修可能予定科目一覧表」参照）※本要項の最後に掲載してあります

世界言語社会専攻、国際日本専攻に開講されている修士論文修士研究ゼミ、総合国際学研究基礎、異分野交流ゼミ、PCS コース科目を除く先取り履修を認めている科目から、進学を希望する各コースの大学院授業科目を7科目（10単位）まで履修することができる。

大学院授業科目の履修に関しては、指導教員と相談の上、学部の授業科目・授業時間割を考慮し、授業科目を選択すること。

5. 募集人数

大学院科目の運営上支障をきたさない程度の数。

6. 審査及び審査結果

原則として書面により、科目ごとの定員、履修条件に従い選考を行う。

審査結果は、掲示にて知らせる。

7. 授業料等

検定料、入学料、授業料は徴収しない。

8. 修得単位の取扱い

- (1) 大学院科目等履修生として修得した単位は、本学大学院に入学した場合に限り、10単位を上限に、大学院課程の修了に必要な単位として認定することができる。
- (2) 大学院科目等履修生として修得し大学院入学後に認定された単位は、教員免許状取得のための単位に充てることはできない。
- (3) 修得した単位を、同時に学部の修得単位とすることはできない。

注意事項：

- ・ 選考に合格しても科目によっては正規の大学院生の登録がないため授業が成立しない場合もあります。先取り履修は、授業が大学院科目として成立している場合にのみ可能です。
- ・ 4年次に履修しなければならない科目と時間割が重なった場合、許可された科目の履修が出来ない場合があります。
- ・ 大学院科目担当教員の承認印、および指導教員の記名・押印（または自署）は不要であるが、代わりにメールにて承認をもらい、願書と一緒に提出すること。
- ・ 履修人数や条件などの関係で先取り履修が認められないことがあります。

2023年度 東京外国語大学大学院科目等履修生（先取り履修）願書

学籍番号		氏 名	
学部名			
住 所	〒	メールアドレス	
		携帯電話	
		TEL ()	

2023年度 大学院授業科目 履修計画書

大学院総合国際学研究科に開講されている以下の科目の先取り履修を希望いたします。

			1限	2限	3限	4限	5限	6限
月	春学期	履修コード						
		授業科目名 (担当教員名)						
	秋学期	履修コード						
		授業科目名 (担当教員名)						
火	春学期	履修コード						
		授業科目名 (担当教員名)						
	秋学期	履修コード						
		授業科目名 (担当教員名)						
水	春学期	履修コード						
		授業科目名 (担当教員名)						
	秋学期	履修コード						
		授業科目名 (担当教員名)						
木	春学期	履修コード						
		授業科目名 (担当教員名)						
	秋学期	履修コード						
		授業科目名 (担当教員名)						
金	春学期	履修コード						
		授業科目名 (担当教員名)						
	秋学期	履修コード						
		授業科目名 (担当教員名)						
集中・時間外	夏学期	履修コード						
		授業科目名 (担当教員名)						
	冬学期	履修コード						
		授業科目名 (担当教員名)						

- ※1 この用紙に記入された授業は、そのまま履修する授業となるので、必ず間違いのないように記入してください。
 ※2 この用紙で知り得た個人情報（学生本人・教員への連絡、学籍・成績管理・履修登録管理・会議資料）に限り使用します。
 ※3 担当教員及び指導教員の承認印の代わりに、担当教員及び指導教員が承認済であることがわかるメールを提出してください。

1. 志望動機(400字程度)

大学院に進学後の専攻テーマや現在の学習状況などとの関係で、先取り履修を行うことへの効果・抱負などについて、述べてください。

2. 指導教員推薦欄

該当する先取り履修科目を履修する能力が現段階で十分であるかなど学生の学習状況、該当学生に先取り履修を認めることの効果等について述べてください。

指導教員名 _____

2023先取り履修用
先取り履修可能予定科目

専攻	コース	科目名	単位数	開講学期	担当教員名	授業開講形態	曜日	時限	時間割コード	備考
国際社会	国際社会	ヨーロッパ・アメリカ地域研究9	2	春期	小田原 琳	対面	金曜日	3	519009	
国際社会	国際社会	ヨーロッパ・アメリカ地域研究10	2	秋期	小田原 琳	対面	金曜日	3	519010	
国際社会	国際社会	ヨーロッパ・アメリカ地域研究11	2	春期	福嶋 千穂	未定	未定	3	519011	
国際社会	国際社会	ヨーロッパ・アメリカ地域研究12	2	秋期	福嶋 千穂	未定	未定	2	519012	
国際社会	国際社会	ヨーロッパ・アメリカ地域研究13	2	春期	福嶋 千穂	未定	未定	4	519013	
国際社会	国際社会	アジア・アフリカ・オセアニア地域研究1	2	春期	青木 雅浩	対面	火曜日	4	519101	
国際社会	国際社会	アジア・アフリカ・オセアニア地域研究2	2	秋期	青木 雅浩	対面	火曜日	4	519102	
国際社会	国際社会	アジア・アフリカ・オセアニア地域研究3	2	春期	小田原 琳	対面	木曜日	5	519103	
国際社会	国際社会	アジア・アフリカ・オセアニア地域研究4	2	秋期	小田原 琳	対面	木曜日	5	519104	
国際社会	国際社会	アジア・アフリカ・オセアニア地域研究7	2	春期	足立 享祐	対面	火曜日	3	519107	
国際社会	国際社会	アジア・アフリカ・オセアニア地域研究8	2	秋期	足立 享祐	対面	火曜日	3	519108	
国際社会	国際社会	アジア・アフリカ・オセアニア地域研究10	2	秋期	吉田 ゆり子	オンライン	金曜日	3	519110	
国際社会	国際社会	アジア・アフリカ・オセアニア地域研究11	2	春期	匡史 匡史	対面	火曜日	3	519111	
国際社会	国際社会	アジア・アフリカ・オセアニア地域研究12	2	秋期	米谷 匡史	対面	火曜日	3	519112	
国際社会	国際社会	アジア・アフリカ・オセアニア地域研究13	2	春期	菊池 陽子	対面	水曜日	2	519113	
国際社会	国際社会	アジア・アフリカ・オセアニア地域研究14	2	秋期	菊池 陽子	対面	水曜日	2	519114	
国際社会	国際社会	アジア・アフリカ・オセアニア地域研究15	2	春期	倉田 明子	対面	水曜日	2	519115	
国際社会	国際社会	アジア・アフリカ・オセアニア地域研究16	2	秋期	倉田 明子	対面	水曜日	2	519116	
国際社会	国際社会	現代世界論研究1	2	春期	上原 こずえ	対面	火曜日	3	519201	
国際社会	国際社会	現代世界論研究2	2	秋期	上原 こずえ	対面	火曜日	3	519202	
国際社会	国際社会	対照日本語研究3	2	春期	谷口 龍子	オンライン	木曜日	2	530112	
国際社会	国際社会	対照日本語研究9	2	秋期	石澤 徹	対面	木曜日	2	530221	
国際社会	国際社会	対照日本語研究8	2	秋期	天津 友美	オンライン	木曜日	2	530222	
国際社会	国際社会	対照日本語研究8	2	秋期	伊東 克洋	対面	木曜日	3	530242	
国際社会	国際社会	対照日本語研究9	2	春期	伊集院 龍子	対面	火曜日	3	530252	
国際社会	国際社会	対照日本語研究9	2	春期	鈴木 美加	対面	金曜日	3	530261	
国際社会	国際社会	対照日本語研究8	2	秋期	鈴木 美加	対面	金曜日	3	530262	
国際社会	国際社会	対照日本語研究9	2	春期	嶋原 耕一	オンライン	木曜日	1	530291	
国際社会	国際社会	対照日本語研究8	2	秋期	嶋原 耕一	対面	金曜日	4	530292	
国際社会	国際社会	対照日本語研究1	2	春期	林 俊成	対面	木曜日	3	530301	
国際社会	国際社会	対照日本語研究2	2	冬学期	林 俊成	対面	木曜日	3	530302	
国際社会	国際社会	対照日本語研究2	2	冬学期	石澤 徹	対面	木曜日	1	530321	
国際社会	国際社会	対照日本語研究2	2	冬学期	石澤 徹	対面	木曜日	1	530323	
国際社会	国際社会	対照日本語研究1	2	春期	工藤 嘉子	対面	木曜日	2	530331	
国際社会	国際社会	対照日本語研究1	2	春期	友常 勉	対面	木曜日	3	530601	
国際社会	国際社会	対照日本語研究2	2	秋期	友常 勉	対面	水曜日	3	530602	
国際社会	国際社会	対照日本語研究1	2	春期	ジョン・ポーター	対面	金曜日	5	530611	
国際社会	国際社会	対照日本語研究2	2	秋期	ジョン・ポーター	対面	金曜日	5	530612	
国際社会	国際社会	対照日本語研究2	2	秋期	シートン	対面	金曜日	2	530621	
国際社会	国際社会	対照日本語研究1	2	春期	シートン	対面	金曜日	2	530622	
国際社会	国際社会	対照日本語研究1	2	春期	木村 正美	対面	金曜日	2	530641	
国際社会	国際社会	対照日本語研究2	2	秋期	木村 正美	対面	月曜日	2	530642	
国際社会	国際社会	対照日本語研究1	2	春期	佐藤 正広	対面	火曜日	2	530651	
国際社会	国際社会	対照日本語研究2	2	秋期	佐藤 正広	対面	火曜日	2	530652	
国際社会	国際社会	対照日本語研究1	2	春期	香名 展生	対面	木曜日	3	530711	
国際社会	国際社会	対照日本語研究2	2	秋期	小松 由美	対面	木曜日	3	530712	
国際社会	国際社会	対照日本語研究2	2	冬学期	友常 勉	対面	木曜日	3	530882	
国際社会	国際社会	対照日本語研究3	2	秋期	林 俊成	未定	未定	4	539003	
国際社会	国際社会	対照日本語研究4	2	秋期	花岡 英恵	未定	未定	4	539004	
国際社会	国際社会	対照日本語研究1	2	春期	花岡 英恵	対面	木曜日	3	539005	
国際社会	国際社会	対照日本語研究2	2	秋期	中野 彰	対面	火曜日	4	539006	
国際社会	国際社会	対照日本語研究1	2	春期	海野 多枝	オンライン	金曜日	3	539007	
国際社会	国際社会	対照日本語研究2	2	秋期	海野 多枝	オンライン	火曜日	3	539008	
国際社会	国際社会	対照日本語研究3	2	秋期	野田 智美	対面	火曜日	3	539009	
国際社会	国際社会	対照日本語研究4	2	秋期	荒川 洋平	対面	水曜日	3	539010	
国際社会	国際社会	対照日本語研究5	2	春期	阿部 新	対面	木曜日	2	539011	
国際社会	国際社会	対照日本語研究6	2	秋期	阿部 新	対面	金曜日	2	539012	
国際社会	国際社会	対照日本語研究7	2	春期	伊達 奈子	対面	木曜日	5	539013	
国際社会	国際社会	対照日本語研究1	2	春期	西原 大輔	対面	木曜日	2	539014	
国際社会	国際社会	対照日本語研究2	2	秋期	西原 大輔	対面	木曜日	2	539015	
国際社会	国際社会	対照日本語研究3	2	春期	イリス ハウカンブ	対面	木曜日	4	539016	
国際社会	国際社会	対照日本語研究4	2	秋期	イリス ハウカンブ	対面	木曜日	3	539017	
国際社会	国際社会	対照日本語研究5	2	春期	土田 耕督	対面	木曜日	4	539018	
国際社会	国際社会	対照日本語研究6	2	秋期	土田 耕督	対面	木曜日	4	539019	
国際社会	国際社会	対照日本語研究1	2	秋期	菅長 理恵	対面	金曜日	3	539020	

注意事項:
1.カリキュラムの都合上、開講曜日・時限・授業開講形態が変更になることがあります。
2.学部で履修予定の科目の時限と重複しないよう注意すること。学部の科目との重複があった場合、大学院科目の履修は認められません。